



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

南条小学校だより
H30.11.30 No. 47

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ 4年生 ブックトーク

11月27日(火)に、南条図書館の司書さんに来ていただき、ブックトークを行いました。「旅によう！」というテーマでおすすめの本を紹介してくださいました。司書さんの上手な話を真剣に聴いていました。



わくわく！れっしゃでかぞくりょう

出版社：交通新聞社、サトシン／作、羽尻利門／絵

おとうさん、おかあさん、おとうと、そして「ぼく」。4人家族が、列車に乗って、小旅行に出かけます。列車を待つ駅のホーム、乗り換え、駅弁、鉄橋、車窓の景色……。見るもの、聞くもの、どれをとってもワクワクがとまらない子どもの気持ち、みずみずしいセリフと美しい絵にのって、ページいっぱいに広がります。ラストには、読者をアツと驚かせる楽しい展開がある、かも！？読めばきっと、家族で列車旅行に出かけたくなる、ほのぼのと楽しいおはなしです。『交通新聞社 HP より』



都道府県の特産品 駅弁編

出版社：理論社、都道府県の特産品編集室／編集

47都道府県の風土を反映した特産品（本巻では駅弁）を1県1点ずつ紹介。ほか、明治時代から続く名物駅弁や、車両形など個性的な弁当を紹介するコラムも。駅弁の定義や歴史年表、かけ紙の読み方がわかる情報ページも充実。『理論社 HP より』



昔の道具

出版社：ポプラ社、工藤員功／監修

「住まいの道具」「食生活の道具」「衣服と道具」「仕事の道具」

『ポプラ社 HP より』

昔の道具をとおして、日本人のくらしの知恵を学びます。豊富なカラー写真で、さまざまな昔の道具を紹介しています。日本人のくらしの知恵や工夫、生活の移りかわりがよくわかります。道具の部分の名称や、使い方まで、ていねいに解説しました。住まいの道具、食生活の道具、衣服と道具など、くらしの場面ごとに道具を分類した、わかりやすい構成です。『BOOK』データベースより



わたり鳥

出版社：童心社、鈴木まもる／作・絵

何千、何万キロもの旅を毎年決まって行なう渡り鳥たち。なぜ、どうして彼らは長い旅に出るのか。世界中の渡り鳥を追いかけ、ともに空を飛びながらその謎に迫ります。『童心社 HP より』



ニルスのふしぎな旅

出版社：偕成社、ラーゲルレーヴ／作

小人にされ、ガチョウの背に乗ってスウェーデン縦断の旅をすることになった少年ニルス。ノーベル賞作家、大江健三郎氏が少年時代に深い感銘を受けたことで話題になった作品。『岩崎書店 HP より』



小さなスプーンおばさん

出版社：学研、アルフ・プリョイセン／作、ビョールン・ベルイ／絵

ある朝、目がさめたら、いきなり茶さじくらいに縮んでしまうスプーンおばさん。気丈なおばさんは少しもあわてず、てきぱきと困難をきり抜けていく。気のやさしいご亭主との静かな暮らしのなかでおこる珍事件を明るくユーモラスに描いた物語。『学研 HP より』

○ 3年生 校外学習（スーパーマーケット見学）

11月27日(火)に、社会科の学習でスーパーマーケット(ハニー南条店)を見学しました。子どもたちは、青果や惣菜、売り場などそれぞれの場所で質問をしたり、自分で確かめたことをメモしたりしながら、お店の働く人の仕事について学習しました。また、バックヤードの見学もすることができ、普段見ることのできない仕事についても触れることができました。



○ 2年生 外国語活動（ALT活用授業）

11月29日(木)に、町のALTに入ってもらい、外国語活動の授業を行いました。色と動物を組み合わせた言い方(black sheepなど)を学習しました。絵本や挿絵などを使ってたくさんの動物の言い方を楽しく学ぶことができました。

